アヴニール労務事務所 所長 柿野元博
http://www.avenir-sr.jp
E-Mail avenir4you@gmail.com

#編集後記　朗らかに、清く正しく美しく

小林一三は、阪急電鉄・宝塚歌劇団・阪急百貨店・東宝をはじめとする阪急東宝（現・阪急阪神東宝）グループの創業者。宝塚歌劇団の女優たちにも「（結婚するなら）**楽しそうに仕事をする男性と結婚するのが一番だ**」と言うほど、「**仕事は楽しんでやるもの**」がモットーの小林でしたが、草創期の電鉄事業では苦労したようです。なかでも現在のＪＲや阪神にだいぶ遅れて参入した、大阪神戸線は当初乗客が少なく、閑古鳥状態。そこで一計を案じた小林が打ったのが新聞広告です。

開業時からずっと「マルーンカラー」（小豆色）の車体なのさ

「綺麗で早うて。ガラアキで　眺めの素敵（すてき）によい涼しい電車」

なんと、空いていることをあえて逆手にとって乗客を呼びこもうとしたキャッチコピーでした。「ガラアキ」という表現がリアルだし、苦境にあってもなんだか緩いユーモアを感じます。(^_-)-☆

顧問の先生は、とってもいい先生でした。その先生のおかげで僕は歴史好きになったんです

その当時小林がターゲットとした神戸について、考えさせられるニュースが先頃ありました。神戸市は、２０２６年度から市立中学校の部活動を終了し、地域によるクラブ活動に全面移行すると発表しました。僕自身のほろ苦い記憶を思い起こさせるニュースでした。

僕が中学生の頃、入部していたバレーボール部の顧問の社会の先生が多忙につき顧問ができなくなったので廃部になると、部員全員を前に突然通告されたのです。僕はまだ１年生でしたが、それから十数人の部員全員で、職員室に行っては先生方一人ひとりを捕まえて、顧問をやってほしいと頭を下げてお願いをして回りました。結局、新しい顧問の先生は見つからず、バレーボール部はそのまま廃部。先生方の大きな負担を知ったのです。

１０３万円の壁と働き控えの問題が依然取りざたされていますが、今国会では教員給与の「残業」の問題についても激しい論議がされています。

教員の仕事は特殊で時間計測になじまない、という理由から教員には「残業代」はありません。その代わりに「教職調整額」として月給の４％分が上乗せ支給されています。これが低すぎるので１３％に上げたい文科省と働き方改革を進めながら徐々に１０％まで引き上げていきたいという財務省の攻防です。

一方で、公務員たる教師の給料の財源は、基本的には税金。１０３万円の壁を引き上げれば税収全体が減るという懸念が議論の背景にあるとしたら、心がモヤモヤしてしまいます。(-_-)

教員の皆さんには心の病が多いと聞きます。でも、子どもたちの育成に係わる先生方が楽しく働くことができるなら、子どもたちに「働くことの素晴らしさ」を伝えられるに違いありません。教員や保育士といった人の育成にあたる職業は、どうか子どもたちの憧れの職業であってほしいと思うのです。

「楽しく働く」ことを大切にした、小林一三の晩年の東宝でのスピーチの一部を紹介させていただきます。

この国は素晴らしい国になるという結論を持っています。
ただ！ただ、そうなるにはひとつ条件があるのです。それはね、皆さんが全員働くことです。
働くというのはね、本来とても楽しいことなのです。
夢を描いてね、知恵を絞る、努力をする、その果てに笑ってくれる人がいる。
そしてその対価として報酬がついてくる。これがねえ、楽しい。
（省略）
きっと遠くない未来、この国は頼りがいのある国になります。
この国で働くことが誇りであり、徳であり、物心両面に報われることが最も多い国になると思います。
皆さんなら必ず出来る、そう期待しています。

NHK 放送 90 年ドラマ「経世済民の男『小林一三』」より

宝塚歌劇で有名な「清く正しく美しく」は、元々は小林一三が歌劇団に送った言葉。あまり知られていないかもしれませんが、実はその言葉には「**朗らかに（ほがらかに）**」という言葉が頭につきます。

「朗らかに、清く正しく美しく」

２０２５年は、僕も「朗らかに」を頭において働くことにします。「美しく」はムリだけどネ。(^^;